

令和5年度自己評価の振り返り結果

作成： 幼稚園型認定こども園箕面学園附属幼稚園
箕面学園学校評価委員会

1. 本園の教育目標

「健やかな体、豊かな心を持つ子ども」

2. めざす子ども像

- ・挨拶ができ、ありがとう・ごめんなさいと言える子ども
- ・何事にも挑戦し諦めない、身心ともにたくましい子ども
- ・友だちとつながり、自分を表現できる子ども

3. 教育の重点

- ・ 幼児理解に努め、幼稚園生活を通じて、知・徳・体・聖・美のバランスのとれた心身の発達を促す。(建学の精神)
- ・ 安全・安心な環境のもと、体験活動の充実に努め、子どもの生きる力の基礎を培う。
- ・ 子ども達を真ん中に、家庭・地域・小学校等との連携に努め、豊かな育ちと学びをつなぐ。

4. 本年度、重点的に取り組んだ内容

新型コロナウイルス感染症に代表される様々な感染症の流行及び近年多く見られる自然災害対策を保護者・後援会のご理解も得て実施。子ども第一に、保護者・教職員の安全を確保しつつ新型コロナウイルス感染症の5類移行後、制約を強いられていた園活動も徐々に制約を解除しコロナ以前に戻していった。

保育システムを導入し、連絡帳機能や預かり保育料の自動計算・自動徴収を進める等デジタル化を推進し、教職員の働き方改革の一助にもした。

また、教育委員会を中心とした関係機関との連携を密にしながら、お便りやホームページ、毎日の園長メール等を駆使してきめ細かな情報発信に努めた。

幸い、保護者・後援会のご理解・ご協力も得て、大きな混乱もなく園の機能が維持できたことには感謝しかない。

具体的には、

- ① 感染症対策の徹底
- ② めざす子ども像、教育課程の見直し・再確認
- ③ 保育システムの導入による適切な事務執行と円滑な園運営
- ④ 保護者・関係機関との連携と情報発信・説明の強化
- ⑤ 個に応じた指導・支援教育の取り組みの充実。

5. 重点項目の達成及び取組状況

- ① 基本的な感染症対策を提示し、子どもへの指導と保護者の方々の理解と不安解消に資すべく努めた。
- ② 研修の成果も活かしながら、指導と評価の一体化を図り、日案・週案・月案・年間指導計画の振り返りを行い、逐一職員会議で再確認し進めた。

③ 保育システム導入による連絡帳機能や諸費徴収等のデジタル化を進めた。また認定こども園としての事務執行も行政と綿密に連携を取り、その内容等を適宜、保護者・教職員に示し、理解を得るよう努めた。

④ 子どもを真ん中に、保護者・後援会・関係機関と連携協働の姿勢で臨み、後援会とは行事ごとに連携をとり、毎月のキンダーカウンセラー事業を通じた保護者支援も実施している。

従来からの、箕面市、箕面市教育委員会、就学先小学校、箕面学園高等学校及び箕面学園福祉保育専門学校との連携にも努めている。

このような動きは、ホームページで常時更新し発信している。また、毎週のお知らせ、隔週の学級だより及び毎月の園便り、メール等で保護者等に伝え理解を得るよう努めている。

⑤ 研修を重ねながら子ども理解にも努め、箕面市教育委員会等の指導・支援も得ながら、個に応じた指導、支援の必要な園児の教育的ニーズに応えるべく支援教育の取り組みを行った。

6. 在園児保護者からのメッセージ

・引っ越しのため、年中からお世話になっています。幼稚園をどこにするか考えていた際に、お電話させていただいた時も、明るく親身にお話を聞いて下さり、ここだと思って決めさせて頂きました。

入園して最初に驚いたのは、子ども達がバスの運転手さんや用務員さんの名前を呼び、親しそうに笑顔で話している姿でした。先生方もお迎えの時等にお会いすると園での様子をよく話してくださいます。まだ、朝に行き渋りをする時もありますが、登園してしまえば、泥んこ遊びや水鉄砲、イベント等楽しいことがいっぱいあるので、毎日楽しかったと帰ってきます。あと、給食もとってもおいしいと言っています。こちらに入園させて預けて本当に良かったと思います。坂道も大変ですが慣れました。

・園選びの為、幾つかの幼稚園を見学しましたが、こちらの園児が1番元気よく自然体であるように感じました。実際通ってみて園生活を楽しく過ごしています。アットホームな雰囲気先生やママさん達も親しみやすく話ややすいです。

年少の頃は登園渋りの日もありましたが、園全体でサポートしてくれていることが感じられ親として心強かったです。年中になり新しく学ぶことが増え、今は毎日楽しく通えており感謝しております。

園長先生からの毎日のメッセージメールも子ども達の様子が変わり安心できます。一人ひとりを大事にしっかりと見てくれる園で、まさに子どもはたくましく育っており嬉しく思います。これからの成長がますます楽しみです。

・明るく元気な幼稚園。すごい、竹馬がある！入園前にはそんな印象でした。入園してから、毎週のお便りの随感やメールで、日々の悩みや奮闘を知るようになりました。この一年間でも、With コロナ、働く保護者増加への対応、デジタル化等、多くのアップデートがありました。変えない、という選択もできる中、子ども達、保護者、箕面学園で働く皆さんのことを考え、常に良い方向を模索している素晴らしい幼稚園です。

子どもも先生達やお友達が大好きで、のびのびと通っています。働く親としても、安心していってらっしゃいと送り出せています。

入園前より今のほうが印象が良いですし、これからも応援しています。

・我が家がこの園を選んだ決め手はズバリ、「先生方や園全体の明るく活気あふれる雰囲気」でした。ギリギリまで他園と悩んでいましたが、朝から疲れが見えたり笑顔がない先生ではなく、元気で面白くて今日も一日頑張ろうと親も子どもも思えそうなこの園に預けたいと最後は直感で決めました。職員数が多くどの先生もクラスを超えて子ども達のことを良く見てください。職員が突然辞職した際はかなり戸惑ったのですが、スピード感のある対応と保護者が納得するまで説明と謝罪があり、子ども達に対してもきちんとお話して頂いたりとアフターフォローがしっかりされていて、ピンチの時にこそわかる園の力が見られ、すぐに不安が消えました。

先生方は日々研修に行かれたりバスに乗ったり沢山の行事や準備に力を入れており、きっと情熱をもって多くの仕事をこなされているので、仕事量が多いのではと推測しますが、全てが「子ども達の為」であるのが伝わってきます。今いる先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

我が家にとって駐車場がないのが 唯一の悩みどころでしたが、今では子どもと徒歩通園も悪くないと思っています。

園探しでは、私もこの用紙を穴があく程読みました。悩んでいる方は、自分のメリットではなく、何を一番大切にしたいか、何を身につけ学んでほしいかで決めるのをおすすめします。

6. 今後取り組むべき課題

ウイズコロナ、ウイズ自然災害の時代、安全安心と園機能の維持並びに持続可能な園運営

- ① 今にふさわしい人材確保と育成及び教育内容の創造
- ③ 園活動の情報発信と教職員のライフワークバランスの確保

7. 学校関係者の評価

- ・ 幼稚園が、PDCA サイクルを機能させ、保育の質の向上に向けて継続的に取り組んでいることは大いに評価できます。
- ・ 園長以下教職員一丸となって、教育目標実現に向け努力していることは評価できます。

学校法人箕面学園幼稚園型認定こども園箕面学園附属幼稚園

令和5年度自己評価結果公表シート

1.本園の教育目標・重点

『健やかな体、豊かな心を持つ子ども』
・幼児理解に努め、幼稚園生活を通じて知・徳・体・聖・美のバランスのとれた心身の発達を促す。
・安全・安心な環境のもと、体験活動の充実に努め、子どもの生きる力の基礎を培う。
・子ども達を真ん中に、家庭・地域・小学校等との連携に努め、豊かな育ちと学びをつなぐ。

2.本年度、重点的に取り組む目標・計画

感染症対策・自然災害対策を重点に、安全・安心な園運営に努めた。不安に対応するため積極的に園の様子を発信すると共に保護者への丁寧な説明にも努めた。また不易流行を見極めた教育内容の見直しと共に、幼稚園内外に開かれた幼稚園を目指した。
--

3.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
在園児について全教職員がその情報を共有して保育を行う。	週3回の職員会議において、子どもの様子、状況、保護者の願いを伝え合い、課題を整理し、全教職員が情報共有・行動連携ができるよう努めた。
教育の質の向上のために、研修へ積極的に参加する。	日常の職員会議等を活用した研修のみならず、コロナ5類移行後復活した対面研修だけでなくオンラインの研修を積極的に活用した。 また、参加した研修会の内容・成果を、レポートにまとめ教職員間で共有を図った。また、職員会議で週案の交流を含めた見直しも積極的に実施し、実践的指導力向上にも努めた。
認定こども園化及び無償化の対応と円滑な園運営の両立を図る。	教育委員会と綿密に連携をとり、適宜、保護者・教職員に示し、その理解を得ながら、円滑に対応できた。教職員の研修の成果と意見を反映し、新幼稚園教育要領の目指す教育観に沿った指導内容・方法の見直し・実践に努めた。 保護者連携と教職員の働き方改革に資するため、保育システムを活用しデジタル化を推進。
ホームページや園だより、メールなどを通じて、園の情報発信に努める。	毎週のお知らせ、クラスだより、毎月の園だより等で情報提供に努めている。コロナ禍、自然災害等への保護者不安解消の一助としても、毎日園長メールを発信し、園・子どもの様子を伝えている。

	またホームページで、行事や日々の子どもの様子を公開、保護者ブログ等で、その生き生きした姿を伝えることができた。ホームページをみた入園希望者で、連絡をくださる方が増加している。
地域との交流を図り、地域に密着した幼稚園を目指す。	隣接する箕面学園福祉保育専門学校及び箕面学園高等学校との連携が拡大・深化しつつある。 その他、箕面市・箕面市教育委員会・警察・消防等関係機関と連携した園活動・各種行事も増加。 コロナ禍で、行事への地域住民の参加が困難な今、ホームページや掲示物等で情報発信に努めた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>新型コロナウイルス感染症禍の園運営・活動も、保護者・後援会のご理解・ご協力を得て大きな混乱もなく、無事に行事も行えている。箕面学園福祉保育専門学校と連携して幼稚園行事を行うだけでなく、子どもの姿を通じた反省会を通じて内実が深まっている。特別支援教育や子ども理解をはじめ取り組むべき課題について、全教職員が積極的に研修に参加し、共通理解を深め、実践し始めている。今後も感染対策の徹底を図り安全・安心の園運営に努める。</p>
--

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育システム活用の具体化と、ウィズコロナ下の感染症や異常気象対策	子ども・保護者・教職員の命・健康・安心・安全を優先し新しい生活様式下の園運営、教育活動の見直しを図る。その上で適宜、適切に、園の考えや活動内容の情報発信にも努める。 保育システムを活用したデジタル化の推進
今にふさわしい人材確保と育成及び定着そして教育内容の創造	研修の活用と処遇改善を並行して、実践的指導力の向上と定着を図る。
園に対する保護者の満足度の向上とニーズを把握する。	私学の独自性を十分に発揮しつつ、様々な機会において保護者・地域と十分なコミュニケーションと情報発信に努める。

6. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。
